



「豊かな手賀沼をめざすデジタル教材づくり事業」全13作品

～小学生向け説明～

2024年5月

<我孫子市消費者の会>

手賀沼をうつくしく～せっけん物語～



むかし、水が澄み、泳ぐことのできた手賀沼は、1960年代からよごれがひどくなり、1974年から27年間も「全国一きたない湖沼」となっていました。手賀沼はなぜ、よごれてしまったのか。よごれてどんな状態になったのか。きれいにするため、住んでいる人たちがどうがんばったのか。水の澄んだ手賀沼をとりもどそうと行われてきた「せっけん運動」のお話を、版画絵本を見ながら女の子がおばあちゃんから聞きます。身近な水環境を守るため、わたしたちにできることをいっしょに考えましょう。

<我孫子の文化を守る会>

手賀沼に集った文化人



大正時代、手賀沼のほとりにたくさんの文化人が住みました。嘉納治五郎、杉村楚人冠、柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤、血脇守之助。これら6人はどんなことをした人なのでしょうか。わかりやすく、楽しいイラストで紹介します。子どもころの意外なエピソードも書かれていて、これを読んだら、あなたは文化人ハカセになれる！ 6人は同じころ手賀沼のほとりに住み、交流しました。なぜ手賀沼に集ったのでしょうか？

あび こやちよう まも かい  
<我孫子野鳥を守る会>

デジタル紙芝居スズメさんの見聞記シリーズ  
(4作品) <録音版>



あび こやちよう まも やちよう しゅじんこう かみしばい  
我孫子野鳥を守る会では、野鳥を主人公にした紙芝居をこれまで5つ作りました。毎年秋に手賀沼で行われている日本最大の鳥のお祭り、ジャパン・バードフェスティバルなどで実演し、喜ばれてきました。その紙芝居「スズメさんの見聞記シリーズ1~5」のうち、「おかえりなさいツバメさん」、「手賀沼のカラスさん」、「沖縄のヤンバルクイナ」、「スズメさんの自然観察」をデジタル版にしました。音声の入った動画と、みなさんが自分で読み聞かせできる音声なしのデジタル紙芝居があります。動画として見たあと、自分たちでも紙芝居ができるし、クイズも楽しめますよ。

あび こやちよう まも  
<我孫子野鳥を守る会>

てがぬましゅうへん  
手賀沼周辺の

デジタル野鳥図鑑



てがぬま やちよう ほうこ やちようけんきゅう ちゅうしん やましな  
手賀沼はむかしから野鳥の宝庫で知られ、日本の野鳥研究の中心である山階  
ちよういけんきゅうしよ せんもん かくぶつかん  
鳥類研究所や鳥専門の博物館もあります。とくに、カモや我孫子市の鳥オオバ  
みづとり おお ゆうめい あび こやちよう まも てがぬま  
ンなど水鳥が多いことで有名です。我孫子野鳥を守る会はその手賀沼で50年  
いじようかつどう つづ れきし だんたい まいつき てがぬまたんちようかい てがぬま みづとりちようさ  
以上活動続ける歴史ある団体で、毎月、手賀沼探鳥会と、手賀沼の水鳥調査  
おこな かつ しゃしん  
を行ってきました。集まったデータや写真はすごい数になります。そのデータ  
しゃしん つか てがぬま やちよう ずかん べんり  
と写真を使い、今の手賀沼でリアルに見られる野鳥の図鑑をつくりました。便利  
けんさくきこう  
な検索機能もあります。

あびこやちようまも  
<我孫子野鳥を守る会>

とうかつしゅうへん しやしんしゅう  
東葛周辺のトンボ写真集



トンボが生きるには、<sup>ようちゆう</sup>幼虫のヤゴが育つ<sup>そだ</sup>水辺<sup>みずべ</sup>が必要です。どんなトンボがどれだけいるかは、その<sup>しぜん</sup>自然が豊か<sup>ゆた</sup>かどうかの目印<sup>めじるし</sup>になります。そして、東葛<sup>とうかつちいき</sup>地域(江戸川<sup>えどがわ</sup>と利根川<sup>とねがわ</sup>には生まれた<sup>ちばけんほくせいぶ</sup>千葉県北西部)には、今も多くのトンボが生息<sup>せいそく</sup>しています。我孫子野鳥<sup>あびこやちよう</sup>を守る<sup>まも</sup>の会<sup>かい</sup>の会員<sup>かいいん</sup>さんがとったトンボ47種の<sup>しゅ</sup>写真<sup>しやしん</sup>とデータをもとに、鮮明<sup>せんめい</sup>なトンボの<sup>しやしんしゅう</sup>写真集<sup>しゅ</sup>をつくりました。手賀沼<sup>てがぬま</sup>を歩いて<sup>かんさつ</sup>観察<sup>かんさつ</sup>するとき、観察<sup>かんさつ</sup>した記録<sup>きろく</sup>をまとめるとき、便利<sup>べんり</sup>な検索<sup>けんさく</sup>機能<sup>きののう</sup>を利用<sup>りよう</sup>し、参考<sup>さんこう</sup>にしてください。

おおつがわ  
<大津川をきれいにする会>

よみがえれ<sup>おおつがわ</sup>大津川<sup>おつがわ</sup>～ふたたびホタルの里に～



かまがやから出て、<sup>しょうなん</sup>沼南の町や田んぼの間を抜けて<sup>ぬ</sup>手賀沼<sup>てがぬま</sup>に注ぐ<sup>そそ</sup>大津川<sup>おつがわ</sup>は、かつてカワセミが<sup>と</sup>飛び、ホタルが<sup>ま</sup>舞い、子どもたちが泳ぐ<sup>およ</sup>清流<sup>せいらゆう</sup>でした。でも、1960年代<sup>だい</sup>から人口<sup>ふ</sup>が増え、とうとうゴミや洗剤<sup>せんざい</sup>のあわでいっぱい<sup>せんざい</sup>のきたない川になってしまいました。そこで、住民<sup>じゅうみん</sup>が立ち上がり、川のごみ拾い<sup>ひろ</sup>をしたり、<sup>きしべ</sup>岸辺の森の手入れをした結果、川がきれいになり、生きものも<sup>もど</sup>戻ってきました。川の<sup>やくわり</sup>役割<sup>なが</sup>って何？ きれいな川の流れる<sup>なが</sup>里山には、どんなすてきなことがあるの？  
おおつがわ <sup>しき</sup>四季<sup>ふうけい</sup>の風景を見ながら、考えてみましょう。

おおほりがわ みずべ  
<大堀川の水辺をきれいにする会>

まも  
見守っていきこう わたしたちのおおほりがわ  
大堀川

いじ  
～維持することの大切さ～



おおほりがわ ながれやま かしわ まち ぬ じがねぼり しりゅう  
大堀川は流山から出て、柏の街なかを抜け、地金堀という支流といっしょに  
てがぬま そそ  
手賀沼に注ぐ川です。1997年、川がゴミだらけになったことを心配した人たちが  
あつ まり、川の中と岸の清掃を始めました。10年後にはサケが卵を産みに海から  
ら上ってくるくらいきれいになりました。それから25年以上、毎月の清掃と、  
まわりに住む人たちといっしょに行う春と秋の大掃除を続けています。年2回、  
すいしつ ちょうさ  
水質の調査もしています。こうした活動を続けることはどんな意味を持っている  
のでしょうか? 「割れ窓」というおもしろい理論(考え方)から、みなさんも  
考えてみてくださいね。

おかぼつと いちぶ やつ あい  
<岡発戸・都部の谷津を愛する会>

おかぼつと いちぶ やつ  
岡発戸・都部谷津の

あぶ しょうぶつ くすり しょうぶつ  
危ない植物・薬になる植物



とうきょう やく こぶん しぜん のこ おかぼつと いちぶ やつ しきおりおり  
東京ドーム約8個分の自然が残る岡発戸・都部谷津では、四季折々、さまざまな  
しょうぶつ はな さ 実をつけたりしています。でも、中にはさわるだけで  
手が腫れてしまう危ない植物も。おいしそうに見えて、食べたら死んでしまう  
ものもあります。ぎやく 逆に、みなさんがよく知っている植物の中には、薬になる  
しょうぶつ 植物もあるんです。ここでは13種類の危ない植物と5種類の薬になる植物  
しょうかい を紹介しました。谷津を歩くととき参考にしてください。でも、見つけてもさわ  
ってはだめですよ。

おかぼつと いちぶ やつ あい かい  
<岡発戸・都部の谷津を愛する会>

おかぼつと いちぶ やつ しやしんしゅう  
岡発戸・都部谷津のチョウ写真集



おかぼつと いちぶ やつ ジェイアール ひがしあびこえき たにちけい  
岡発戸・都部谷津は J R 東我孫子駅から歩いて10分のところに広がる谷地形  
の場所です。我孫子市の開発が進む中で、東京ドーム約8個分の自然が奇跡的に  
残され、まもられています。ここはチョウの楽園で、岡発戸・都部の谷津を愛する  
会が2000年～2022年の23年間に観察したチョウは61種を数えます。そのす  
べてを写真集にしました。少しずつ減っていることが心配されていますが、毎年  
50種類くらいは見られます。写真集はメガホンのマークをクリックすると、  
おんせいせつめい やつ しら  
音声説明も聞けます。谷津で見たチョウを調べてみませんか。

ふなと  
<船戸の森の会>

ふなと  
船戸の森のおはなし



あびこえき ふなと くさき おしげ はい  
我孫子駅からすぐの船戸の森は草木が生い茂り、おとなでも入るのがこわいよ  
うな場所でした。2009年、近くの我孫子第四小学校にかかわりのあるおとなた  
ちが立ち上がり、船戸の森の会をつくりました。会員のおとなたちは森の整備に  
あせ ちい あんしん あそ ばしよ  
汗を流し、今では小さな子どもでも安心して遊べる場所になりました。花や鳥もたく  
さん見られるようになりました。森を整備するとどんなすてきな場所になるの  
か、ふなと  
船戸の森のキャラクター、「もりくん」と「らんちゃん」が案内してくれま  
す。

ふなと もり  
<船戸の森の会>

ふなと  
船戸の森とどんぐり



森には、たくさんのどんぐりが落ちています。よく見ると、どんぐりにもいろいろあるよ。そもそも、どんぐりって何の木の実？ 我孫子駅からすぐの船戸の森で見つけられる5種類のどんぐりについて、くわしく説明しました(低学年向け)。高学年向けには、どんぐりのなる木のことや、今どんぐりの木に起きている危機についても解説しました。近くの森に行ってみよう。どんぐりを探そう。どんぐりを持ち帰って調べてみよう。もう一度行って、木も見よう。

ながれやましりつはくぶつかんとも かい  
<流山市立博物館友の会>

てがぬま かいていばん  
「手賀沼むかしものがたり」<改訂版>



大むかし手賀沼は海だったんだ。原始時代からおおぜいの人が生活する住みやすい土地だったから、貝塚や古墳がたくさん残っているんだって。平安時代に朝廷に反乱をおこしたといわれる平将門は、手賀沼あたりもおさめていたんだって。手賀沼のうなぎは江戸時代のころから高級品で有名だったそうだよ。昭和時代、手賀沼には遊泳場があったんだって……。流山市に43年間住み、手賀沼が大好きだった漫画家の小野強さんが残した作品で、手賀沼の誕生から今日までを楽しくたどります。改訂版では、各時代の手賀沼をよりよく知っていたくため、時代ごとに参考情報をヒントとしてつけ加えました。

びてれん きょうざいせいさく  
<美手連デジタル教材制作

ピーティーうんえいじむきよく  
P T 運営事務局>

てがぬまりゅういき みずくさ  
手賀沼流域のこまった水草



てがぬま ばくはつてき がいこく みずくさ おも なんべい  
手賀沼ではこの10年ほどで爆発的にふえた外国の水草があります。主に南米を  
げんさん  
原産とするナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイです。手賀沼や手賀  
ぬま なが ぐんらく  
沼に流れこむ川で大きな群落(かたまり)をつくり、小さな切れはしが流れつくだ  
けで、そこから芽や根が出てどんどん増えます。群落が手賀沼の水を外に出す  
でぐち  
出口をふさいで、洪水の危険を高めたり、手賀沼の水といっしょに田んぼに入り、  
いネに混じって増えてお米が収穫できなくなるなど、すでに被害が出ています。  
いったいどんな植物なのか? やっつけるのに何が行われているのか? わた  
したちにできることはあるのか? 今大問題になっているこまった水草について  
て 知ってください。